



2月4日(水)日高管内の新冠町にて、平成26年4月に日高管内に戻ってきた広域人事終了者の意見交換会を行いました。

3年間で経験した様々な取り組み事例や、本事業に今後求められるものなど、活発な議論が交わされました。

◆日高町立富川中学校 古俣 翔平教諭(広域:苫小牧市)

元々、胆振管内の出身で、北海道の採用は日高管内であったが、出身地の胆振を経験したく、応募した。

印象的なことは、職員集団が校務分掌の中で有機的に動いており、様々な経験ができたこと。

苫小牧では小学校との連携(給食・挨拶指導、出前授業など)が盛ん。苫小牧での取組を参考に、日高でも充実させていきたい。

転出・転入の配置は、意向を大事にしてもらえるとありがたい(私は配慮してもらえたので)

3年間を終え日高に戻ってきたことから、頑張っていきたい。

◆浦河町立浦河第一中学校 山田 綾教諭(広域:千歳市)

小規模校の経験はあったが、大規模校を経験したく志望した。転出した千歳市の中学校は、当時北海道で一番大きかった(笑)

3年という期間は短く、学校全体を見るために、長くてもよいのでは。

大規模校では分掌もチームとして動き、話し合いながら進めた。生徒指導なども学校全体で見ている。

また、校内外で教科のつながりがあり、学びを深めた。日高管内でも教科のつながりをつくっていきたい。



◆平取町立貫気別小学校 萩澤 志穂里教諭(広域:岩見沢市)

生まれも育ちも日高管内。採用も日高だったため、他管内を見てみたいと思志望した。

体力的に辛いこともあったが、バレーボールで全国大会に行けて救われた。

集会活動では、高学年が自発的に取組む姿勢に驚いた。

日高に戻ってきて一年目、すぐ実践とはならなかったが、広域の経験を活かして、集会活動や体力向上の取組をやりたい。

■【集約】日高教育局長 北村 善春

お忙しいなか、お集まりいただき感謝申し上げます。

この意見交換会には3つの狙いがある。まず、施策の検証。「制度を作って終わり」ではなく、これからも良くしていきたい。2つ目に、

若手への発信。ぜひ皆様にも、周りに発信していただきたい。3つ目、日高管内をどのように良くしていくか。

改善のためには、全体がベクトルを合わせる必要があり、方策は多様。他管経験者の声も一つとして、管内の町・学校に伝えるので、皆で考えていきたい。他管で経験したという「小中学校の連携」や「校務分掌の動き」などは、日高では課題となっていることも。

皆様は「広域人事一期生」、今後も終了者が毎年戻るとともに、「地域枠採用者(※)」の転入も。教育局としても、様々な場面で連携し、取組を進めたい。

(※新採用で他管内にて4年経験し、その後は日高で勤務する制度)



教諭の皆様へ！広域人事を検討してみませんか？

○ 広域人事とは

- ・他管内において原則3年間勤務し、その後は元の管内に戻ります。
- ・平均年齢の高い管内(胆振など)と平均年齢の低い地域を有する管内(日高など)の間での異動を基本としています。
- ・3年間の勤務終了後の人事異動(日高管内での勤務地)については、本人の希望や勤務経験を十分に配慮します。

○ 制度のねらい

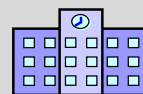
- ・平均年齢の高い管内の中堅層の教諭は、異動先で教育実践の中核を担った後、元の管内に戻りその経験を活かしていただけます。
- ・平均年齢の低い地域を有する管内の若年層の教諭は、異動先で経験を積んだ後、元の管内に戻り力量を発揮していただけます。

※例年、10月頃に募集の通知を行っています。

少なくとも1校経験者
(おおむね26歳以上
30歳以下)



都市部の中堅校
【12~18学級】



郡部の平均年齢の
低い学校
【6学級規模】



10年経験者研修修了者
(おおむね35歳以上
40歳以下)



発行元

北海道教育庁日高教育局
企画総務課教職員係
〒057-8558
北海道浦河郡浦河町
栄丘東通56号
(0146)22-9483
URL:<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hdk/>